

第 57 回 大阪市廃棄物減量等推進審議会 会議要旨

1 日 時 平成 27 年 7 月 17 日（金）13 時 30 分から 15 時 21 分まで

2 場 所 大阪市環境局 第 1・2 会議室

3 出席者

（委員）

貫上会長、花嶋副会長、上原委員、北井委員、後藤委員、斎藤委員、田村委員、東田委員
増田委員、松本委員、鷺尾委員

（大阪市説明者）

北辻環境局長、林田環境局理事兼エネルギー政策室長、青野総務部長、山本事業部長、
田村企画課長、金箱事業管理課長、清原家庭ごみ減量課長、宮崎一般廃棄物指導課長、
山下企画課長代理（司会）

（大阪市・八尾市・松原市環境施設組合）

蓑田事務局長、松田施設部長

- 4 議 題
- ・平成 26 年度のごみ処理量等について
 - ・大阪市一般廃棄物処理基本計画改定の素案について
 - ・その他

5 議事要旨

- （1） 大阪市から、平成 26 年度のごみ処理量等について、また、大阪市一般廃棄物処理基本計画改定の素案について、説明があった。
- （2） 意見等の概要は以下のとおり
 - ア 平成 28 年度から 10 年間の基本計画として、減量目標をごみ処理量 90 万トン以下とし、生ごみの減量を進めることで 3 万トンの減量をめざすこととしているが、他の減量施策の効果も勘案し、市民に理解いただけるような説明が必要ではないか。
 - イ 生ごみの減量については、保健所等との連携を考慮する必要がある。
 - ウ 市民・事業者への周知については、ごみゼロリーダーとの連携や施策効果の見える化など、また、2R の推進については、経済的なインセンティブの活用を検討するなど、様々な工夫が必要である。
 - エ 事務局において、本日の意見を踏まえて次期基本計画（案）の作成を進め、次回審議会で示すこと。

6 会議資料

- （1） 第 57 回大阪市廃棄物減量等推進審議会 資料
- （2） （参考資料）現行計画と次期計画の基本方針の比較（6 ページ関連）
（参考資料）用語説明（10・14 ページ関連）